

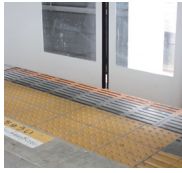
しいなひろみの新しい11の約束

～1期4年で実現できなかったこと～

全ての区民の皆さまのために

1 東武練馬駅ホームドア設置 (東武練馬駅&下赤塚駅&成増駅の安全対策)

東武練馬駅、下赤塚駅、成増駅がホームドア整備のための調査設計着手駅として選上に上がりました。あらためてホームを見ると幅の狭い場所もあります。ホームドア設置に伴う計画にはバリアフリーや地域活性化の視点も入れることが必要です。



2 交通不便地域への「足」の確保 (東武練馬03循環バスの代替え)

令和元年8月末に東武練馬03循環バスが廃止となり、議会の一般質問でも代替の交通手段のお願いをさせていただきました。特に、廃止停留所となった北野神社、徳丸六丁目中央を利用していた地域住民の方から、生活が不便になり、復活してもらえないものなのかと、高齢者の皆さまをはじめ多くのご相談の声が引き続き寄せられています。



3 徳丸3丁目の日本郵便官舎跡地にインクルーシブ公園設置

人口7千人を超える徳丸三丁目に現在公園は2か所しかありません。この町内には、災害時の一時避難場所にもなり得る防災機能を兼ね備えた場所が必要だと考えます。この跡地に、災害時の防災拠点や、多世代が利用できる屋外運動具、車椅子利用の子どもやよちよち歩きの子どもたちが遊べる遊具、ワンコも楽しめる広場と、インクルーシブな多機能公園の設置を目指します。



4 危険な交差点に信号機設置へ

令和3年6月に、見通しのよい直線道路で下校中の児童の列にトラックが激突し5名が死傷するなど、通学路における事故が後を絶ちません。危険な交差点への信号機設置は区民の命を守るための重要な施策です。例えば、徳丸3-29番地と30番地、徳丸4-20番地と29番地が交差する十字路は大変危険です。この十字路は児童だけでなく、地域の高齢者の方なども時間帯を問わず利用されています。根本的な安全対策に信号機設置は必須です。



5 医療費控除の対象となるスポーツジムや運動施設の設置を

厚生労働大臣認定健康増進施設のうち、基準に基づいた施設で医師の処方に基づき運動療法を実施した場合の施設利用料金について、疾病の治療のために患者に指定運動療法施設を利用した運動療法を行わせたと、あるいは行わせている旨の記載のある医師の証明書などを確定申告書に添付することで、医療費控除の対象とすることが認められています。板橋区でも、医療費控除の対象となるスポーツジムや運動施設の設置を積極的に行う必要があると考えます。



高齢者・障がい者の皆さまのために

6 高齢者迷子QRコード

QRコード付きシールをあらかじめ衣類などに付けておくことで、迷子になった高齢者の方のQRコードを読み取り発見から保護、そしてご家族への引渡しまでの工程がスムーズに実現できます。高齢者がいるご家族に安心をもたらすサービスです。既に70以上の自治体が導入していることから、認知症の方々の行方不明対策は喫緊の課題であり、早期の導入を求めています。



7 車いす避難所への備蓄品を

以前区内のある避難所の備蓄品を確認したところ、松葉杖はサイズが大と小が数組もあるのに車椅子がありませんでした。避難所に来てから立てなくなる高齢者が居ます。東日本大震災でも災害関連死で多くの高齢者や障がい者が命を落としています。災害時は備えが重要であり、車いすは必ず必要になるものです。



8 介護福祉士実務者研修受講料の助成金導入へ

介護現場での実務者の育成は板橋区においても急務の課題です。それを後押しする目的で、費用(受講料)の一部を補助して介護職員の介護福祉士国家資格等取得を支援することにより、区内の介護職員の処遇改善及び定着を図ります。



9 高齢者紙おむつ支給事業の上限変更

カタログから選べるようになった「紙おむつ等支給事業」、要介護1～5まで一律で4,500円分利用できますが、介護度の高い要介護4や5の方は、それでも不足にご家族やヘルパーさんがドラッグストアに紙おむつやパットを買いに行っているというケースも多いです。一方で、特養に入所の方はおむつ代の負担はありません。生活保護の方は21,200円、障がいの制度では9,000円と、利用出来る金額に差があります。要介護4や5の方が使える上限を増やすべきです。



10 在宅の酸素濃縮装置利用者へ非常電源装置を給付項目に追加

酸素濃縮装置を使用するには電気が必要ですが、停電となれば酸素供給ができません。電気の供給がなければ、酸素濃縮装置から酸素が出なくなります。人工呼吸器を利用されている方には非常電源装置などの助成がありますが、在宅の酸素濃縮装置利用者への非常電源装置などの助成は、本区ではありません。在宅で濃縮酸素装置を利用している方へ非常電源などを日常生活用具などで給付できるよう求めてまいります。



11 ベジチェックを使いフレイル予防のための行動変容へ

食生活は健康づくりの基本です。皮膚のカロテンノイド量の測定で「野菜摂取の充足度や推定野菜摂取量」が表示されるベジチェックという機器も開発されました。LEDを搭載したセンサーに手のひらを当て数十秒で測定が完了することから、利用者がその場で結果を見ることが出来る簡便さが特徴です。本区でも、このベジチェックを用いフレイル予防のための行動変容につなげていければと考えております。



●その他赤塚公園にドックランの設置等皆さまの声を区政に届けます



しいなひろみ プロフィール

地元の北野保育園、北野小学校、赤塚第一中学校出身。親子四代板橋区在住。早稲田大学大学院卒業。デイスーパーや訪問介護事業の経営、介護教員としてのヘルパーの育成等、長く介護現場で活動。主任ケアマネジャーとして地域で暮らす高齢者の方々と共に歩んで参りました。平成31年4月板橋区議会議員選挙に初当選。

しいなひろみ選挙事務所

〒175-0083 東京都板橋区徳丸3丁目29番2号

TEL 080-5187-7224 (直通ダイヤル)

FAX 03-3579-2734

E-mail hirorin@orion.ocn.ne.jp

HP <https://shiina-hiromi.com/>

公式HP



板橋区 しいなひろみ 検索